

平成 20 年 10 月 21 日
 国 土 交 通 省
 文 部 科 学 省

輸送中の放射性同位元素の所在不明事案に係る国際原子力事象評価尺度 (INES) 暫定評価の結果について

(社)日本アイソトープ協会(荷主)が、京都医療技術短期大学(京都府南丹市)^(参考 1)に向けて、9 月 24 日(水)に発送した放射性同位元素(リン 32、量 1 ミリリットル)が、所在不明になっている事案について、国土交通省及び文部科学省は、国際原子力事象評価尺度 (INES)^(参考 2)による暫定評価をいたしましたので、結果をお知らせします。

今回の事案については、10 月 6 日(月)、荷主である(社)日本アイソトープ協会より報告書が提出されたこと等から、これに基づき評価を行ったものです。

- (参考 1) 4年生の京都医療科学大学に拡充。短大も存続しているが、生徒募集は、もう、行っていない。
- (参考 2) INES の詳細については、別紙参照。

(INES による暫定評価)

被ばくに基づく評価	環境への影響に基づく評価	深層防護の劣化に基づく評価	総合評価
—(注)	—(注)	レベル 0	レベル 0

- 「被ばくに基づく評価」：人体への被ばくの影響度に基づく評価。
- 「環境への影響に基づく評価」：放射性物質の環境への放出量等に基づく評価。
- 「深層防護の劣化に基づく評価」：安全対策の状況に基づく評価。
- 「レベル0」：安全上重要ではない事象。
- (注)輸送物が発見されていないので、評価対象外。

<お問い合わせ先>
 国土交通省 自動車交通局 技術安全部 環境課 野津、岩佐
 TEL:03-5253-8111(内線 42-502、42-513) 直通:03-5253-8603

 文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課
 放射線規制室 桐生、栗辻
 TEL:03-6734-4045(直通) 03-5253-4111(内線 3941、3928)

国際原子力事象評価尺度
(INES:International Nuclear Event Scale)について

1. INES とは

(1)国際原子力事象評価尺度(INES)は、国際原子力機関(IAEA)及び経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)が、原子力発電所等の個々のトラブルが安全上どのような意味を持つものかを簡明に表現できるような指標として1992年に策定したものである。

(2)2006年に放射性輸送物の輸送中の事故等にかかる基準を含む追加ガイダンスが発行された。

2. 放射性同位元素等の陸上輸送事象に係る我が国の対応

当省においては、2006年の追加ガイダンスを受け、内規を定め、次のような取扱いを行っている。

(1)INES 暫定評価

事業者からの事故発生後の通報に基づいて、文部科学省と連携して INES 暫定評価を行い、結果を公表する。

(2)INES 正式評価

事業者からの詳細な報告書に基づく情報を収集した後、自動車交通局に設置された「放射性物質陸上輸送技術検討会」を開催し、文部科学省の委員会等と連携を図り、その検討結果を踏まえて、自動車交通局及び文部科学省は、INES 正式評価を行い、公表する。

【国際原子力事象評価尺度(INES)】

参考事例

